

▼関東

城下町村上「町屋のお人形様巡り」

金親 顯男(BSN)

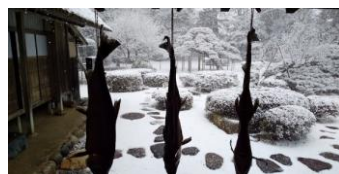
令和2年に企画した街歩きがコロナ禍で延び延びになり、3月21日に待望の実施となりました。新潟の県北、村上市内には武家屋敷や町屋、料亭などの古い建物が多く残されており、雛祭り期間中、多くのお雛様を展示しています。当日は、新潟支部の会員12名が午前8時半に新潟駅に集合。電車移動の後、10時過ぎから始まった街歩きで最初に訪れたのは郷土資料館「おしやぎり会館」。村上では、祭りに曳き回される山車の事を「おしやぎり」と呼びます。会館には常時3台が展示され、歴史ある雛人形と併せて目を楽ませてください。



おしやぎり会館

会館を出る頃、思いがけない春の雪に見舞われましたが、かえって雪国新潟の風情を実感しました。

鮭の町に春の雪



若林家住宅 (重要文化財武家屋敷)

町屋では、全国的に有名な鮭料理店「きつかわ」を訪れ、吊るされた鮭の下に飾られたお雛様に感激。



町屋など80軒に4000体のお雛様



2時間半ほどお人形様巡りをした後は、街歩き恒例の食事も。割烹千渡里(ちどり)で村上特産の鮭料理と清酒、張鶴(しめはり)

つる)を堪能し、15時過ぎに村上を後にしました。

浜名湖花博など春の「旅幸」

堀池 高彰(SBS)

4月9日、春のうららかな日に静岡支部恒例の日帰りバス旅行「春爛漫、花博ウォッチング」に参加しました。



はまつフラワーパーク

20年振りの開催となった浜名湖花博会場の一つ、はまつフラワーパークには開園時間の9時に到着。自家用車駐車場はすでに満車で、平日なのにと驚きました。さっそく入場してまずは記念撮影、後は各々で散策を楽しみました。開花が遅かった桜は残念ながら散っていましたが、水面や

芝生の花びらが余韻を放っていました。花の盛りはチューリップです。数え切れない程の種類があり、園内、所狭しと咲き誇っていました。どの花壇もバランス良く複数の種類を配することで、遠目には殆ど満開のように見え、日々管理される方の苦労がしのばれました。

たつぷり歩いた後は、浜松自慢の餃子昼膳を賞味し、私が一番楽しみにしていた浜名区の花の舞酒造へ。車中では、ハーモニカの名手、SBSの森さんが唱歌から歌謡曲まで見事に演奏し、旅情を盛り上げてくれました。一日三千回を作る醸造施設を見学した後はお楽しみの試飲。種類の多さにお土産の選択に困りました。

店先の杉玉を名残惜しみながら、バスは遠江国一宮(とおとうみのくに・いちのみや)へ。

555年の創建ともいわれる小國神社は、真つすぐ伸びた杉の大木が古にいざなう儼かな地。小國ことまち横丁で求めたソフトクリームで疲れを癒やしました。

思い思いにお土産を手にし、行程表の時間通り静岡市に帰着。皆さん、満足気な笑顔で、秋の旅行での再会を約束していました。